

令和 7 年 10 月 17 日

課 名 総務局研究開発課

担当者 課長 松浦

内 線 2424

課 名 商工労働局自動車・新産業課

担当者 課長 出射

内 線 3361

令和 7 年度 県立総合技術研究所 東部工業技術センター 「支援事例発表会」の開催について

1 要旨・目的

県立総合技術研究所 東部工業技術センターにおいて、保有する技術及び試験・研究機器の活用事例を事業者や業界等に広く紹介し、併せて機器の見学を行い、センターの利活用の促進を図るための「支援事例発表会」を開催する。

2 現状・背景

センターの取組や保有技術等を広く紹介し、更なる利用、支援機会の創出を図るため、研究成果発表会もしくは支援事例発表会のいずれかを毎年開催している。

3 概要

(1) 実施主体

県立総合技術研究所 東部工業技術センター

(2) 実施期間（日時）

令和 7 年 12 月 9 日（火）13：30～15：30

(3) 場所

県立総合技術研究所 東部工業技術センター 2 階講堂
（福山市東深津町三丁目 2-39）

(4) 実施内容

ア 講演（13：35～14：45）

（ア）デスクトップ 3D プリンタの活用事例

デジタルものづくり支援担当 担当部長 竹保 義博

（イ）メルトインデクサーの活用事例

材料技術研究部 主任研究員 塚脇 聡

（ウ）X 線 CT による柔軟素材のモデリング事例

加工技術研究部 研究員 山形 亮太

（エ）工業製品の破面観察による破壊解析事例

加工技術研究部 主任研究員 大田 耕平

（オ）センターホームページの紹介

技術支援部 主任研究員 青山 進

イ 機器見学（14：55～15：30）

3D プリンタ、メルトインデクサー、万能引張圧縮試験機（10kN、500kN）、
振動試験機、三次元測定機、マルチセンサ式座標測定機等

4 その他（関連情報等）

詳細は、東部工業技術センターホームページ（下記リンク先）に掲載する。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29/>



令和7年度 県立総合技術研究所

東部工業技術センター 支援事例発表会

参加費 無料

要事前申込

どなたでも参加可

センターを活用した課題解決や、設備・機器利用に興味のある方にお勧めです

- 1 日 時 令和7年12月9日(火) 13:30~15:30
- 2 場 所 県立総合技術研究所 東部工業技術センター 2階講堂
(福山市東深津町三丁目 2-39)
- 3 内 容 保有する技術及び試験・研究機器の活用事例についてご紹介します。
併せて機器の見学を行います。

(1) 講演 (13:35~14:45)

表題	内容	発表者	時間
デスクトップ3Dプリンタの活用事例	近年急速な高機能化が進んだ10万円前後で購入可能な3Dプリンタを活用した支援事例を紹介します。	デジタルものづくり支援 担当 担当部長 竹保 義博	13:35 ~ 13:50
メルトインデクサーの活用事例	メルトインデクサーは、熱可塑性樹脂の流動性や加工性を評価する指標であるメルトフローインデックスを測定する装置です。昨年導入したメルトインデクサーの活用事例を紹介します。	材料技術研究部 主任研究員 塚脇 聡	13:50 ~ 14:05
X線CTによる柔軟素材のモデリング事例	X線CT技術を活用し、対象物の形状保持を工夫することで、柔軟性に富む植物(バラ)の繊細な特徴を鮮明に捉えた3Dデータ計測事例を報告します。	加工技術研究部 研究員 山形 亮太	14:05 ~ 14:20
工業製品の破面観察による破壊解析事例	破損した工業製品に対して実施した電子顕微鏡による『破面観察』の結果から、破壊形態や進展方向などを特定し、原因究明と再発防止策に繋げた事例について報告します。	加工技術研究部 主任研究員 大田 耕平	14:20 ~ 14:35
センターホームページの紹介	ホームページの掲載内容について、研究開発情報、技術支援事例、保有する試験・研究機器、技術支援の内容・手続き等を紹介합니다。	技術支援部 主任研究員 青山 進	14:35 ~ 14:45

(2) 機器見学 (14:55~15:30)

次のセンター保有機器について、センター職員が説明します。

〔3Dプリンタ、メルトインデクサー、万能引張圧縮試験機(10kN、500kN)、
振動試験機、三次元測定機、マルチセンサ式座標測定機等〕

問い合わせ先: 084-931-2402
ekcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

広島県 東部工業技術センター

検索